

平成28年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

平成29年4月28日

代表者 東畑 開人

研 究 課 題 名	日本における「心の専門家」の養成システムはいかにあるべきか—医療人類学に基づくイギリス・インド・日本の比較文化的研究
研 究 期 間	平成28年6月1日～平成29年3月31日
共 同 研 究 者	
1. 今年度の研究概要	
<p>2015年に公認心理師法案が可決し、現在「心の専門家」の国家資格が整備されている。当然「いかに心の専門家を養成するか」は重大な課題だが、現在心理学界ではこの点について分裂が続いている。各々の学派が自ら範とする諸外国の養成モデルを理想化することで、議論が全くかみ合わないという事態が生じているのである。その結果、「心の専門家の養成システム」は省庁主導での政治マターとなって、妥協案が作成される目算となっている。しかし、公認心理師は心理学に基づく専門職であるのだから、この問いには学問的アプローチによる探求が不可欠である。</p> <p>以上を踏まえ、本研究が注目したのは「文化的要因」である。諸外国の養成システムは、それぞれの文化的背景からもたらされたものであると理解し、その共通構造と文化固有の現れを、医療人類学的に分析することにした。そのために、心理療法の先進国であるイギリスと、日本の現状について質的な比較を行うことで、心の専門家の養成に文化がいかなる影響を与えているのかを明らかにしようと試みた。その上で日本に適した養成モデルの提言を行うことが大目的となる。それは、今後の公認心理師養成を巡る議論に実証的基礎を与えるような学術的な知見だと言える。</p> <p>具体的には、イギリスでの精神分析インスティテュートの調査を行った。このときイギリスの訓練システムについての著作「The making of psychotherapists」の著者 James Davies と綿密な打ち合わせを行い、その本の翻訳を行ってきた。このとき、共訳者である京都大学の中藤信哉先生と神田メンタルクリニックの小原美樹先生と日本の心理臨床についての討議を重ね、加えて非臨床心理学によるカウンセラー養成の実際を見るために、京都でのアドラー心理学の実践の取材を重ねた。</p>	

2. 研究の成果

研究費削減率 60%であったが、上述の研究目的について、一定の結論を得ることができた。

何よりも力動系心理療法のトレーニングがいかなるシステムで運営され、それが訓練生をいかに主観的にかたちづくっていくのかを明らかにした。この点については、筆者が 2017 年 2 月に刊行した著作「日本のありふれた心理療法」の中の「野生の事例研究論」における筆者自身の訓練課程についての論文で成果を発表している。

また英国のトレーニングがいかにイギリス文化によって制限されているのかについては、現在翻訳作業中の翻訳書「心理療法家を作るところ」の解題で詳しく論述する予定となっている。

加えて、科研費による「1970 年代沖縄での心理療法家養成」の調査研究と比較することで、日本における心理療法家の養成が、非心理療法的文化に強い影響を受けることを心理臨床学会第 35 回大会の「心の専門家」にとって資格とは何かー「臨床心理士」成立前後の時期に着目した医療人類学的研究」で研究発表を行った。

これらに加えて、公認心理師をめぐるカリキュラム策定のための WG に出席して、今後の日本の心理臨床家育成について見解をまとめることができたので、それは本学の今後の公認心理師養成のための大学院計画の中で生かしていく予定にしている。

3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）

以下に本研究と関係して既に発表した研究成果と今後発表する成果を示す。

1. 単著書 東畑開人. 日本のありふれた心理療法ーローカルな日常臨床のための心理学と医療人類学 誠信書房 2017
2. 論文 東畑開人. 「民間療法と臨床心理学」. 臨床心理学 17 巻 4 号 印刷中 2017
3. 東畑開人・渡久山朝裕. 「心の専門家」にとって資格とは何かー「臨床心理士」成立前後の時期に着目した医療人類学的研究. 日本心理臨床学会第 35 回大会, 横浜 2016. 9
4. 東畑開人. 指定討論「心理臨床家の幸福論」. 日本心理臨床学会第 35 回大会職能委員会シンポジウム「私たちの学び方・働き方・生き方ーアンケートに見る日本心理臨床学会会員の現状ー」. 日本心理臨床学会第 35 回大会, 横浜 2016. 9

以上は、文化の問題と心理療法家養成の問題と関わる研究成果を発表したものである。

加えて、現在成果を公表するために作業しているのは、以下のものである。

1. 翻訳書 東畑開人・中藤信哉・山下美樹(訳) 心理療法家を作るところー人類学的分析 誠信書房 (James Davies(著) The Making of Psychotherapist- Anthropological Analysis. Karnac. 2017 年 11 月出版予定で作業中)

この翻訳書の中に、「解題」を執筆する予定であり、本研究課題で立てた問いについては、そこで包括的に論じる予定をしている。

平成 28 年度(2016 年) 研究概要

研究所・部門	
研究課題名	日本における「心の専門家」の養成システムはいかにあるべきか—医療人類学に基づくイギリス・インド・日本の比較文化的研究
研究代表者	東 畑 開 人
研究期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
共同研究者	

1.研究成果取組状況

(1)国内外の学会発表

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	招待講演
発表済	東畑開人 指定討論「心理臨床家の幸福論」 日本心理臨床学会第 35 回大会職能委員会シンポジウム 「私たちの学び方・働き方・生き方—アンケートに見る日本心理臨床学会会員の現状—」 日本心理臨床学会第 35 回大会, 横浜 2016.9	○
発表予定		

(2)雑誌論文(学内紀要含む)

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	査読有無
投稿済	論文 東畑開人 「民間療法と臨床心理学」 臨床心理学 17 巻 4 号 2017	×
投稿中 投稿予定		

(3)図書等の出版

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所
出版済	単著書 東畑開人 『日本のありふれた心理療法—ローカルな日常臨床のための心理学と医療人類学』 誠信書房 2017
出版予定	

(4) シンポジウム・講演会等の開催

状況	主催者名・協賛社名等, 講演(発表タイトル), 実施年月日, 実施場所
開催済	
開催予定	

(5) 本研究に関連して本学経費以外に支援を得た補助金など

年度	機関・財団名, 事業名, 課題名